



滋賀県立日野高等学校

活動テーマ

「日野チャレ」花壇づくり講座

実践事例について

本校では、「花のまち日野町」という地域理念が定着していない現状を踏まえ、駅前景観の向上を通して地域ブランドの再認識を図る取組を実施した。高校生の選択制の講座で実施することで、関心の高い生徒が主体的に取組を深められることを意図している。高校生が主体となり花の植栽および維持管理を行うことで、環境保全意識の醸成と地域連携の深化を目指した。

1 活動概要

本校第1学年の選択者21名が中心となり、令和7年9月から11月にかけて実施した。

(1) 目的

- ・「花のまち日野町」の理念を具体化する
- ・日野駅に花を設置し、来訪者に印象づける
- ・持続可能な維持管理体制を構築する

(2) 期間

令和7年9月～11月

(3) 主な連携

- ・日野駅前商店街
- ・日野ダリア園
- ・農業の元教職員
- ・三雲養護学校石部分校木工班(プランター制作)

- ・花の管理について

(エ) 設置花種の選定

- ・植栽時期と育てやすさを基準に検討
- ⇒パンジーとビオラを植栽することに決定

(オ) 認知方法の検討

- ・カードを作成し、認知を広げることを検討



図1 肥料について実物を見ながら説明を受ける様子

2 活動詳細

(1) 9月：調査・学習・計画

(ア) 他地域の景観形成事例調査

- ・公園レビュー調査
- ・日野ダリア園の見学

(イ) 資源の持続可能性について学習

- ・廃棄物を元にした堆肥の製造について
- ・水資源の利用について

(ウ) 花の生育条件や管理方法の検討

- ・季節の花や植栽についての学習



図2 作成した花カード

活動テーマに関連する MLGs のゴール



(2) 10月：植栽・設置・管理体制構築

- ・花の植栽実習
- ・商店街との設置場所調整



図3 植栽方法について指導を受ける様子



図4 植栽に取り組む様子



図5 三雲養護学校木工班に制作依頼したプランター



図6 近江鉄道日野駅に設置

⇨地域内連携を通じて「つながりあって目標を達成する」モデルを実践

(3) 11月：成果発表・継続管理

- ・活動振り返りと報告発表
- ・駅利用者からの反応収集

- ・管理体制の見直し
⇨設置後も継続的な維持を行い、責任ある活動へと発展させていきたい（継続実施予定）

3 成果と課題・今後の展望

(1) 成果

① 環境的成果

(MLGs「水とつながる祈りと暮らしを次世代に」)

- ・管理を通じた水資源への意識向上
- ・駅前景観の改善
- ・公共空間美化意識の醸成

⇨自然環境を守る行動を、日常的な実践として体験的に学ぶ機会となった。

② 連携的成果

(MLGs「つながりあって目標を達成しよう」)

- ・商店街との協働
- ・専門的知見の導入
- ・他校との横断的連携

⇨学校単独ではなく、多主体連携型の地域実践モデルを形成できた。

③ 教育的成果

- ・地域課題を具体的に考える機会となった
- ・花の植栽を通じた環境配慮意識の向上
- ・公共空間を意識した活動経験

(2) 課題

設置後の継続的な維持管理体制については、今後さらに検討が必要である。持続可能な景観形成には、地域との役割分担や管理体制の明確化が重要であると認識している。

(3) 今後の展望

本年度は初年度の取組として、「花を植える」「プランターを設置する」という具体的行動を実現できた。

今後は、管理体制の検討、設置箇所の拡大可能性の検討、地域住民との協働の深化を視野に入れ、MLGs理念を継続的に体現する取組へ発展させたい。

学校名	滋賀県立日野高等学校
住所	滋賀県蒲生郡日野町上野田150
電話番号	0748-52-1200
E-mail	hino-h@ms.pref-shiga.ed.jp